

令和7年度 第1回新城市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時

令和7年6月17日（火）午前9時40分から

2 開催場所

市民センターほうらい 集会室2, 3

3 委員（22名中20名出席）

所 属 等	氏 名	備 考
新城市長	下江 洋行	会長
名古屋大学大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター教授	加藤 博和	（副会長）
公益社団法人愛知県バス協会専務理事	小林 裕之	欠席
豊鉄バス株式会社常務取締役	綿貫 琢也	
豊鉄タクシー株式会社取締役社長	鈴木 英司	
東栄タクシー有限会社代表取締役	原田 拓巳	
東海旅客鉄道株式会社東海鉄道事業本部 管理部企画課 担当課長	豊田 智隆	
ジェイアールバス関東(株)新城支店長	山代 竜	
新城市社会福祉協議会 会長	前澤このみ	
山吉田ふれあい交通運営協議会 会長	肥田 芳博	
千郷地域の足の確保検討委員会 委員長	浅井 泰博	（監事）
八名地域の交通を考える会 会長	加藤久美子	座長
山吉田地域の交通を考える会 会長	石野 里美	
東郷地域自治区の足を考える会	市村 照代	
作手地区代表	齋藤 純子	（監事）
中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	原田光一郎	
豊橋鉄道労働組合中央副執行委員長	河合 公紀	
愛知県都市整備局交通対策課 担当課長	石屋 義道	代理 主事 伊藤智哉
愛知県新城警察署交通 課長	大脇 猛	
愛知県新城設楽建設事務所 維持管理課長	田中 康雄	欠席
愛知県東三河総局新城設楽振興事務所長	長谷川勝春	代理 山村振興課 課長 金原伸芳
一般社団法人新城市観光協会 事務局長	横山 和典	

4 会議次第

別紙次第のとおり

5 会議の結果

【自己紹介】

事務局、委員から自己紹介

【役員選出】

会長の指名により、副会長には加藤博和委員、監事には浅井委員、斎藤委員が選出。

座長は、加藤久美子委員が立候補し、全員の承認により決定。

【会長挨拶】

本日は大変お忙しい中、新城市地域公共交通会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。また、委員をお引き受けいただきまして、ありがとうございます。日頃から、皆様方には地域の公共交通のあり方・運営について様々なご支援・ご指導をいただきありがとうございます。皆様のお力添えをいただきながら、地域公共交通の維持・充実に向けて、今年度も取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、3月の軽トラ市では、交通系ＩＣカードの導入イベントとして、乗車体験等を実施し、多くの方に体験をいただけたと思います。こうしたＰＲ活動を通して、公共交通の利用促進に今後進めて参りたいというふうに思っております。本当にありがとうございました。

また、約7ヶ月以上通行止めになっておりましたが長篠東栄線につきまして、4月の末に復旧し通行できるようになりました。鳳来寺への観光に行く皆さんに影響したということもありまして、それが、山の湊号利用にも繋がっているため、非常に深刻に受け止めておりましたが、無事に復旧し感謝しております。あわせて、田口新城線の経路も復旧したので良かったと思っております。

さて、今年度は市制20周年の年でございます。これを記念しまして、愛知県民デーに市内を運行するバス1日無料で利用いただける企画も予定しておりますので、こうした機会に多くの方にご利用いただいて、さらなる公共交通の利用促進につなげていきたいと考えております。

そして、新城北設楽郡地域公共交通利便増進実施計画も、昨年度から本格的にスタートしました。地域公共交通の維持、活性化に向けた、こうした新たな取り組みが動き出しているところであります。

地域の足を守り、安心して移動できるまちを実現するためには、地域の皆様一人一人のご理解とご協力が必要です。本日の会議を通し、公共交通の利便性向上や利用促進に向けた、活発な議論がされることを期待しております。

本日の会議でありますけれども、皆様方それぞれの立場から忌憚のないご意見をいただきまして、ご指導賜りますことをお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【副会長あいさつ】

おはようございます。副会長にご指名いただきました。

新城市の公共交通会議の委員は何期やったのでしょうか。旧新城市の時からお手伝いさせていただいておりますが、だんだんにネタが尽きてきたりするんですが、ここはネタが尽きないところで、まだやらなければいけないことがたくさんありますので、ご協力をお願いします。

国の方は1ヶ月混乱が続いているような気がしていて、いろんなことをやっているのですが、全然まとまりがない。正直に言うと、予算が増えたけれども、うまく活用されていない。

こんな物価が上がっているときにそんなこと言っているのかと強く思っているんですけども、逆に言うと、新城で、きちんと必要なことをやって、お金を有効に活用して、結果を出して、新城は頑張っているいいところだというPRをしながら、国全体がどういう風に動いたらいいのかということに示唆を与える仕事をやっていかなければいけないと思っています。

大事なのは、住んだり、訪れたりしやすい地域になるために公共交通をどうするかについて、この場でしっかりと、私も皆さんも考えていかなければいけないということです。

これまで、いろいろな地域で仕事をやってきたので、皆さんのやりたいことが実現できるようそのノウハウを提供していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

5 議事録

議事の前に、愛知運輸支局より「活発な議論のために」について説明。

協議事項1 新城市地域公共交通計画の修正および令和8年度地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統）について

事務局より説明←委員全員より承認（主な議論は下記のとおり）

委員：国からの補助金を受けるために必要な毎年6月に作成する計画です。公共交通計画の目標を引用しているので、会議資料にはないですが、委員の皆さんも路線ごとの目標を後でも構いませんので、各自認識していただくのが大事だと思います。海老連谷線の実績はどうですか。

事務局：資料に記載されているのは、本格運行になってからの実績値です。主に中学生が利用、一般の利用もあります。目標設定としては、田口新城線に乗り換える目的で利用していただいた方の実績を目標値に設定しました。

委員：地区内から地区外への移動に利用されているが、地区外から四谷の千枚田も使えますか。

事務局：地区外の方も予約をすれば利用可能です。予約をスムーズにするために推奨しているが、登録なしでも利用できます。日曜日は運休です。

協議事項2 新城市・北設楽郡地域公共交通利便増進実施計画の変更について

事務局より説明←委員全員より承認（主な議論は下記のとおり）

委員：本長篠駅は、目の前に宇連川が流れており、雨が降ると水位が上がって少しずつホームが変状しており、要注意箇所として監視していた。2022年の大雨でさらに変状し、おそらく地滑りも発生している。対策として、今の上りホームを廃止し、下りに一本化、駅舎の建て替えを計画しているものである。市と協議し、業務委託している乗車券類販売事業を継続する方向で話をしているところである。

委員：施設の維持管理は非常に大変だと思うが、災害対策としての建て替えだけでなく、全体的に見直しをしていただくのはありがたいと思います。駅舎は建て替えして、空き用地もできてきますか。

委員：駅舎が建て替えにより、現状より小さくなる。駅前の空き用地ができるので、うまく利活用できるよう考えたいと思っているので、よろしくお願いいたします。

委員：社会資本整備総合交付金を活用するのは初めてだと思うので、良い活用になればよいと思います。

事務局：駅舎の建て替えにより、引き続き駅員を配置するが、駅員の業務だけでなく、バスターミナルを案内するような公共交通案内所としての役割も持たせたいと思っています。

事務局：変わらず学校の敷地内を使わせていただけるのでこれまでと変更はない。

協議事項3 Sバスちさと線の土休日実証運行について

事務局より説明←委員全員より承認

委員：Sバスの土日運行について、地元からの要望はあるが、なかなか予算的に厳しいこともあり、恒常的に行うのは難しい。去年の千郷夏祭りでもどう行けばいいのかとの意見もあり、今回実現していただいた。チラシもできたので、委員で広報活動をしなければならないと思っているところです。

委員：実際、千郷地域からどのようにちさと線を使ってちさと館に行くことができるのか。チラシとは別で地区ごとにどう予約すればちさと館を往復できるのか分かる資料をつかって、きちんと説明する必要がある。1年間で、実証運行できるようなイベントをある程度ピックアップしておくといい。

委員：新城文化会館でイベントをする際にも、バスがないのでいくことができないという意見を必ずもらう。この実証運行の結果は、この会議の場で教えていただきたい。

協議事項4 山吉田ふれあい交通指定乗降場所の新設について

事務局より説明←委員全員より承認

報告事項

- (1) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業二次評価について
- (2) 令和7年度夏休み小学生50円バスの実施について

会議終了 11:30